

秋田県内初

# 美郷町日本酒による 乾杯を推進する条例を制定

**美** 郷町の特産品の一つとして、水と自然に育まれた日本酒があります。このたび、町内産の日本酒で乾杯する習慣を広めることにより、醸造業、商工業、農業、観光業等の振興に資するとともに、地域の食文化を継承し、水環境資源に対する意識を深め、郷土愛の醸成を図るため、「美郷町日本酒による乾杯を推進する条例」を制定しました。

条例は、町と事業者が連携して町内産日本酒での乾杯を推進し、町民の方にも協力を求める内容になっています。皆さんも町で生まれたおいしい日本酒で、楽しく乾杯してみませんか。

町では町内施設や飲食店にポスターやチラシを配布します。チラシの裏側は、切り取ってお猪口用のコースターとして使える「おちょコースター」になっています。どうぞご利用ください。



# JAL美郷連携プロジェクト

## 客室乗務員によるマナー教室

1月22日、役場庁舎で「客室乗務員(CA)によるマナー教室」が開催され、町内企業や観光協会、商工会、町職員など約60名が参加しました。この教室は、日本航空が提供する「お客様への最高のサービス」を直接学び、接客の考え方や手法のスキルアップを図ることを目的に行われました。

講師を務めたのは日本航空客室乗務員教官の吉本恵美理さん。表情、視線、立ち居振る舞い、言葉遣いなどについて指導しました。吉本さんは、豊かな表情の基本は笑顔とし、「笑いは自分のため、笑顔は人のためにするもの。忙しい時でも好印象を感じてもらえるよう常に笑顔を忘れずにいてほしい」とアドバイスしました。その後は参加者が二人一組になり、「あいうえお」という言葉に「大変申し訳ありません」「大好き」という気持ちを込め、声のトーンや表情だけで相手に気持ちを伝える練習を実施。参加者たちは、自分の気持ちを相手に伝える難しさや、相手の気持ちを察することの大切さなどを学んでいました。



ンや表情だけで相手に気持ちを伝える練習を実施。参加者たちは、自分の気持ちを相手に伝える難しさや、相手の気持ちを察することの大切さなどを学んでいました。

## JALそらいくーお仕事講座ー

2月14日、美郷中学校で「JALそらいくーお仕事講座ー」が開催され、同校の2年生186名を対象に、日本航空秋田支店長の天川谷茂さんが「人生で本当に大切なこと」と題して講演しました。

美郷町出身で旧六郷中学校卒業生でもある天川谷さん。ニューヨーク支店に勤務していた時の体験から、「アメリカでは、成功した人は誰かの協力があったからだと考え、その富を社会に還元する。私も生まれ育った秋田県に恩返しをしたいと考え、美郷町との連携協定や県内の大学生を対象とした就職塾などに協力している」と説明しました。講演の結びには、夢を持って努力し、感謝の気持ちを忘れず謙虚に生き、違う世代や自分とは異なる意見を持つ人の話を素直に聞くことの大切さを訴えました。



## JAL“鶴の恩返し” 地域貢献活動ウインターキャンプ

2月16日、JAL“鶴の恩返し”地域貢献活動ウインターキャンプが開催されました。昨年7月に行った水環境保全キャンプで町の人々から受けたご恩を返したいと、日本航空の社員16名が来町し、一人暮らし高齢者宅の除雪やロートピア仙南での餅つきなど、地域の高齢者と交流を深めました。

キャンプに参加した同社の稗田悠一さんは、「除雪は思った以上に重労働で、高齢者の方たちの日ごろの苦勞がうかがえる。『雪の壁がなくなって、家の窓から光が入るようになると気持ちも明るくなる』という言葉にやりがいを感じた。これからも地域貢献活動を行っていきたい」と話してくれました。

